

研究協力のお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

最後に、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：ダパグリフロジンによる赤血球増加に対する腎機能の影響についての検討

1. 研究対象者および研究対象期間

2020年12月～2024年11月に当院院外処方にてダパグリフロジン 10mg が処方された方

2. 研究目的・方法

ダパグリフロジン（商品名：フォシーガ[®]錠）は2014年3月に2型糖尿病治療薬として承認され、その後2020年11月に慢性心不全に対して適応拡大を得ており、糖尿病合併の有無に関わらず、心不全患者における標準的治療薬の一つとなっています。また腎保護作用を有していることから2021年8月に慢性腎臓病においても糖尿病の有無に関わらず承認を取得しています。ダパグリフロジンをはじめとする多くのSGLT2阻害薬において、投与後にヘモグロビン（Hb）およびヘマトクリット（Ht）の上昇が確認されており、これらは血液凝縮に起因するのではなく、エリスロポエチン産生やヘプシジンの低下による鉄利用能の改善などに対する作用が影響すると考えられています。しかし、腎機能の程度がHb値およびHt値に対してどのような影響を及ぼすのかについては明らかにされていません。

本研究では腎機能がこれらの赤血球増加に対してどのような影響を及ぼすのかについて検討することを目的とします。調査方法は電子カルテを用いて、後方視的に下記に示す内容を調査します。なお、本研究は金城学院大学と共同で行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、ダパグリフロジンの投与開始日、糖尿病の有無（1型、2型）、既往歴、血液検査所見、尿検査所見、使用中の併用薬及び用量

4. 個人情報の取り扱い

個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター

所 属 薬剤部

氏 名 中野 裕二郎

電話番号 058-246-1111